

うつく おと
美しい音をだすには

① **正しい姿勢**

背すじをのばし、肩やうでに力が入らないように、楽にかまえましょう。座奏の時は机にひじをつかないようにしましょう。



② **フィンガリング(指づかい)**

うらの連指表で正しい指づかいをおぼえましょう。また、リコーダー演奏で音孔を完全にふさぐことはとても大切です。指の腹のやわらかい部分で音孔をおさえましょう。おさえる時は指を見ないでおさえる練習をしましょう。

③ **適当ないきの量**

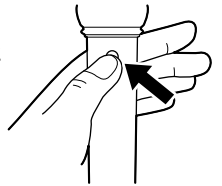
適当ないきの量で演奏することが大切です。いきが強すぎたり弱すぎたりすると、音がひっくり返ったり、正しい音程、美しい音色が得られません。音がふるえないように音がまっすぐ伸びるようにいきを調整しましょう。

④ **タンギング**

吹きはじめは上の歯の根元にかかる舌をあててtu「トゥー」またはdu「ドゥー」と発音する要領で声を出さずにやさしいいきを吹き込みます。音があまりするどくならないように注意しましょう。

⑤ **高い音をだすには**

高い音を美しく発音するためには、図のように左手親指を立てて音孔に約1/4のすきまをつくります。すきまが大きすぎると発音しにくくなったり、正しい音程が得られなくなりますので注意しましょう。また、タンギングをti「ティー」と発音する事でよりクリアな音を得られます。



⑥ **低い音をだすには**

やさしいいき(あたたかいいき)で演奏しましょう。音孔が完全にふさがっているかを確認しましょう。また、タンギングはdu「ドゥー」、ro「ロー」など、やわらかく行なってください。

⑦ **ピッチ(音高)の調節**

他の楽器と合奏する時などは、頭部管を抜き差しすることによりピッチを調節することができます。頭部管を抜くとピッチは下がり、差し込むとピッチは上がります。

とりあつか
取扱いについて

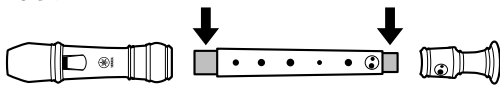
⚠ **ふりまわさないで!**

楽器をふりまわすと、まわりの人にケガをさせる危険があるので絶対にやめましょう。



● **組み立て方**

リコーダーを組み立てるときは、中部管のつなぎ目に付属のリコーダークリームを塗りましょう。



※ クリームがなくなったら、お近くの楽器店で『ヤマハリコーダークリーム』をお買い求めください。

※ YRS-27III、YRS-28BIIIにはリコーダークリームが付属していません。(注)

● **楽器を吹く前に**

吹く前に手のひらなどで十分に頭部管をあたためてから吹きましょう。冷えているリコーダーにあたたかいいきを吹き込むと水滴がたまりやすくなります。

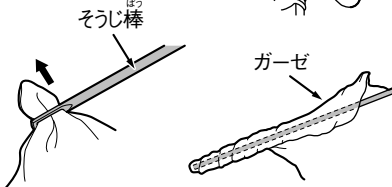
● **水滴がつまったら**

ウィンドウェイに水滴がつまったらときは、ピーツとならないように窓の部分をおさえ、強いいきをふきこみましょう。



● **楽器の手入れは**

演奏が終わったらガーゼなどでいいいに水分をふきとりましょう。付属のそうじ棒にガーゼを巻きつけて、管内側の水分もふきとりましょう。



- ラビュームのまわりは、音をつくる最も大切な部分ですから、特にキズをつけないように気をつけてください。
- ベックの部分はよごれやすいので、いつも清潔にしておきましょう。
- 管の外側についたよごれは石けん水をふくませた布で、つなぎ目のクリームがとれないように注意しながらふいてください。ベンジンやシンナーは使わないでください。また、リコーダーの熱湯煮沸はおやめください。リコーダーが変形する可能性があります。

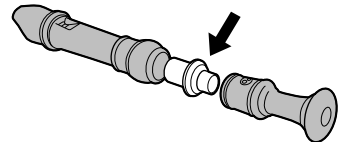


YRS-27III、YRS-28BIII、YRN-302BIIIにはそうじ棒が付属していません。(注)

(注) リコーダークリーム、そうじ棒は別途お買い求めいただけます。

捨てないで!

アルトリコーダーに付属の「頭部・足部管キャップ」は、ケース収納時の本体ジョイント部同士の接触によるキズ付きや破損を防ぐものです。捨てずにご利用ください。



※ アルトリコーダー以外のリコーダーに「頭部・足部管キャップ」は付属していません。

ゆび と
指かけの取り付けかた

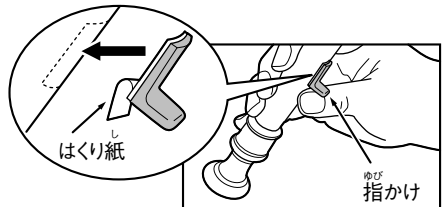
⚠ **取扱いの注意**

指かけを使わないとき

まちがって飲みこむおそれがありますので、幼児の手のとどかないところへ保管してください。

- 本体表面の油分、水分をよくふきとる。
- 指かけのはくり紙をはがす。
- 右手でリコーダーを持って親指の位置をあわせる。
- 親指の位置にあわせて指かけを取りつけ、しっかりとおさえる。(一度取りつけると取りはずしがむずかしいので、位置は十分に確かめてください。)

※ 指かけが取れたときは、お店で売っている両面テープをはってください。



※ ソプラニーノリコーダーに指かけは付属していません。

足部管 (フットジョイント)
中部管 (ミドルジョイント)
頭部管 (ヘッドジョイント)

ラビューム
 まど窓
 うたぐち 唄口 (バック)
 ウィンドウェイ

音孔 (トーンホール)

右手
 小指 ⑦
 くすり指 ⑥
 中指 ⑤
 人さし指 ④

左手
 くすり指 ③
 中指 ②
 人さし指 ①
 おやゆび 親指 ①

ソプラノ テナー
 ソプラニーノ アルト

○ ● ● 開く
 ● ● ● と閉じる
 ● ● 1/4開く

・2つの運指がある音は、左が標準で右はかえ指です。

・ソプラニーノとソプラノはこの記譜よりも実際は1オクターブ上の音になります。

●ご相談窓口のご案内

■製品のご相談
 機能や取扱については、お買い上げの特約店または下記ご相談窓口をご利用ください。

お客様コミュニケーションセンター
管弦打楽器ご相談窓口

0570-013-808
 ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
 通話料金は音声案内で確認できます。
 上記番号でつながらない場合は **053-411-4744**へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 (土曜日・日曜日・祝日・センター指定休日を除く)

URL : <https://jp.yamaha.com/support/>
 ※「よくあるお問い合わせ」を掲載しています。

■修理のご相談
 ご購入店または下記ご相談窓口をご利用ください。

ヤマハ管楽器修理ご相談センター

0570-012-808
 ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
 通話料金は音声案内で確認できます。
 上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 (土曜日・日曜日・祝日・センター指定休日を除く)

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、予めご承知ください。

ヤマハ株式会社
 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号